

年に一度の

「室戸岬灯台（日本一の灯台）」一般公開

～「147周年灯台記念日」行事～

高知海上保安部

来る11月1日は「147周年灯台記念日」です。

高知海上保安部では、この灯台記念日にあわせ海上保安庁が設置している航路標識について、広く県民の皆様にご覧いただく良い機会をとらえ、日本一のレンズと光達距離（光が届く距離）を持つ室戸岬灯台を下記のとおり一般公開いたします。

記

1 日時

【夜間公開】平成27年10月31日（土）

午後5時～午後7時まで

【昼間公開】平成27年11月1日（日）

午前10時～午後4時まで

いずれも荒天、雨天中止とします

2 場所

室戸市室戸岬町字大坊屋敷 6939-2

室戸岬灯台（室戸岬灯台の概要は、別紙のとおりです）

3 イベント

【夜間公開】

- ・こども灯台守（地元小学生）による点灯式
- ・夜間の灯台内部公開（レンズ室は非公開）

【昼間公開】

- ・昼間の灯台内部公開（レンズ室公開）
- ・灯台写真パネル展
- ・クイズラリー
- ・海上保安庁制服の試着
- ・灯台点灯カウントダウン（午後5時ころ点灯予定）

むろとざき

室戸岬灯台のプロフィール

1 灯台の概要

室戸岬灯台は、明治32年（1899年）4月1日に初点灯されました。

現存する鉄造りの灯台としては、新潟県佐渡島にある姫埼灯台（明治28年初点灯）について、日本で2番目に古い歴史ある灯台です。

また、高知県下の灯台としては、高知灯台（明治16年初点灯、高知市桂浜）、甲浦灯台（明治17年初点灯、安芸郡東洋町甲浦）について、3番目に設置されました。

室戸岬灯台の最大の特色は、日本一のレンズです。

レンズの大きさは、高さ2m50cm、焦点距離が92cmあり、第1等レンズと呼ばれるもので、現在、日本では5箇所のみで使用されています。

光達距離は、26.5海里（約50km）で日本一です。

なお、第二次世界大戦時、戦闘機から鉄造の灯塔に機銃掃射を浴びせられ、当時の掃射跡が灯塔に現在も残されています。

1等レンズ使用灯台：犬吠埼灯台、室戸岬灯台、角島灯台、経ヶ岬灯台、出雲日御碕灯台

2 灯台の要目

所在地	高知県室戸市（室戸岬） 北緯 33度14分50.0秒 東経 134度10分32.3秒
塗色及び構造	白色 塔形（鉄造）
灯質	単閃白光 毎10秒に1閃光
光度	160万カンデラ
光達距離	26.5海里（約50km）
構造物の高さ	15.4m
水面から灯火までの高さ	154.70m

3 建設の経緯

日清戦争（1894～95年）直後、海運助成策が推進され、その一環として室戸岬灯台が建設されました。

建設のための資材は、帆船で灯台下の「月見が浜」に陸揚げされ、海岸から山頂までレールを敷設し、蒸気釜を設けて蒸気力により、現在の灯台まで運び上げられました。

灯台の建設に要した費用は、当時の金額68,293円13銭8厘（現在の貨幣価値に換算すると約13億円）とされています。